

Odds Park Club

金沢競馬特集

vol.70

2023.7~9

ジョッキーインタビュー
青柳正義 騎手

Graded Dirt Races

- 7/5 スパークングレディーカップ JpnⅢ(川崎)
- 7/12 ジャパンダートダービー JpnⅠ(大井)
- 7/17 マーキュリーカップ JpnⅢ(盛岡)
- 8/15 クラスタールカップ JpnⅢ(盛岡)
- 8/17 プリーダーズゴールドカップ JpnⅢ(門別)
- 8/31 サマーチャンピオン JpnⅢ(佐賀)
- 9/20 テレ玉杯オーバルスプリント JpnⅢ(浦和)
- 9/26 白山大賞典 JpnⅢ(金沢)
- 9/27 日本テレビ盃 JpnⅡ(船橋)



私的な名馬録

遠征で鍛えられ金沢最強に トラベラー

1998年8月、金沢で小さな競走馬がデビューを迎えた。名はトラベラー。父ダイナガリバーは86年に日本ダービーと有馬記念を制した名馬だが産駒でGIを勝利したのは96年の桜花賞を制したファイトガリバー1頭のみと目立った活躍馬を輩しておらず、本馬も410キロ台の馬体で特に目立った印象はなかった。

デビュー戦は4番人気で3着。初勝利を挙げたのは3戦目、2勝目は8戦目と時間を要したが、この頃から明らかに馬が違って来た。当時、トラベラーを管理する小原典夫調教師は大柄な方で、馬乗りには体重も重かった。その師が調教に跨って鍛え上げた効果が現れてきた。

当時1月に行われていたサラブレッドヤングチャンピオン（現・金沢ヤングチャンピオン）は無敗だったゴールデンコークに屈したが、翌月に初遠征となる名古屋競馬での東海クイーンカップを1番人気に迎えて勝利すると、チャレンジ精神旺盛な小原調教師は桜花賞ステップレースであるJRAのチューリップ賞に挑戦。さすがに初芝では通用せず、後方のままで13着に終わった。

彼女はとにかくタフで翌4月には金沢で出走。ただ、この時期に一般（古馬）編入は条件的に厳しく入着が精一杯。一度リズムを崩した牝馬は立て直すのは難しく、徐々に同世代との対決となった北日本新聞杯は中団から伸び切れず4着。続く日本海ダービーは最後方追走から一気に捲って3コーナーで先頭に並びかけるも力尽きて4着と不振に陥ったように思えた。

転機が訪れたのは8月のMRO金賞。いつも通り最後方からレースを進めて3コーナー過ぎからポジションを上げると一気に先団を捉えて差し切って勝利。重賞2勝目を挙げる。続くサラブレッドチャレンジカップGⅢは5着、3歳ながら挑戦した白山大賞典GⅢは9着と結果は出せなかったが果敢に強敵に挑んだ。

次に選んだ舞台はダービーグランプリGI（盛岡）。最低人気ながら直線は鋭く伸びてきて勝ち馬からコンマ5秒差の3着。この結果が“トラベラー（旅人）”の始まりだったように思う。翌年の1月に白銀争覇（笠松）3着、2月にTCK女王盃GⅢ（大井）15着、5月の東海ステークスGⅡ（JRA中京）11着と振るわなかったが精力的に遠征を続けた。

徐々に地元での出走となった百万石賞は完勝と言える内容で勝利も、それでは満足せず、旅を続けた。翌月にはマークユリー



写真●NAR

ダービーグランプリでは中央馬相手に3着に好走

カップGⅢ（盛岡）5着、2カ月空けて挑んだ日本テレビ盃GⅢ（船橋）が3着。11月の東海菊花賞GⅡ（名古屋）も3着と金沢競馬所属馬としてダートグレード制覇まであと一步のところまで迫っていた。

地元で出走すれば北國王冠を大差勝ち、続く中日杯も3コーナー先頭から押し切る横綱相撲で勝利して古馬三冠を達成。遠征を繰り返して、ここまで強くなった馬は近年では見た記憶はなく、心身ともに強い馬だったのだと執筆していて改めて思った。

中村勇好（なかむらたけよし）

1977年金沢市出身。幼少期より父に金沢競馬場へ連れて行かれた記憶があり、この業界に入ったのは必然的なものなのか、1996年に競馬キンキに入社。調教担当。

Pickup!! 注目重賞

第35回 ばんえいグランプリ
8月13日（日） 3歳以上 帯広200m

ファン投票の上位馬に通算取得賞金上位馬（ファン選出馬を除く）を加えたメンバーによる争いで、ばんえい競馬上半期の総決算として親しまれているグランプリレース。かつてはナイター開催期間で唯一の古馬BG1だったが、暑い夏場に実施されるため、馬の重量負担を考慮し、2020年からは



写真●ばんえい十勝

22年ばんえいグランプリはメモロボブサップが連覇達成

BG2に変更されている。

歴代の勝ち馬を見ると、タカラフジやアサギリ、スーパーペガサスと生涯獲得賞金が1億円を超えた名馬の名があり、なかでもアサギリは1991～94年に4連覇を達成。ばんえい競馬における同一重賞の4連覇はこのアサギリのばんえいグランプリと、スーパーペガサスのばんえい記念（03～06年）の2例しかなく、紛れもない偉業といえる。また16年にこのレースを制したオレノココロは、翌17年から20年まで4年連続でファン投票1位。18年にはグランプリ2勝目を挙げると、その後も重賞で勝利を積み重ね、通算25勝はばんえい競馬における重賞最多勝記録となっている。

そして21、22年はメモロボブサップがともにファン投票1位に迎えて連覇を達成。ばんえい記念も2度目の挑戦となった今年制しており、名実ともに現役最強馬の座に上り詰めている。メモロボブサップにとって今年の本レースは3連覇がかかる。ファン投票の結果も含め、楽しみな一戦となりそうだ。

第55回 不来方賞

9月3日（日） 3歳 水沢2,000m

盛岡の旧地名がレース名となっている重

賞で、長らく岩手競馬のダービーとして親しまれてきたが、現在では岩手競馬の3歳三冠最終戦に位置付けられている。また、かつては広域交流として実施された時代もあったが、2010年以降は岩手所属馬限定となっている。

今年が第55回と伝統のレースで、菅原勲騎手（現調教師）が歴代最多の12勝。21年にはマツリダスティールで調教師としても勝利を果たしている。また現役では、同馬の鞍上を務めた村上忍騎手が最多となる7勝を挙げている。17年からは同年に創設された『3歳秋のチャンピオンシップ』に組み込まれており、20年の勝ち馬フレッチャビアンカは、同シリーズファイナルのダービーグランプリも勝利。シリーズ創設後、この2競走をともに制したのは唯一となっている。

23年は舞台が14年ぶりに盛岡から水沢に替わり、1着賞金も前年の800万円から1,000万円に増額されている。そして昨年発表された全日本的なダート競走の体系整備に伴い、24年からはダートグレードのJpnⅡに昇格し、ジャパンダートクラシックJpnⅠ（大井）の前哨戦として実施される。岩手競馬3歳三冠最終戦としては、23年がおそらく最後となる不来方賞。ぜひオッズパークでお楽しみください。

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●2度目のチャレンジで頂点に

昨季を締めくくる『第55回ばんえい記念(BG1)』はメモロボブサップが2度目の挑戦で初制覇。逃げるアオノブラックを離れた2番手から追いかける普段とは違う展開となったが、1000kgの重量で粘り強く歩き、直線で止まった同世代ライバルをかわして押し切り名実ともに現役最強馬となった。

●成長したインビクタ

2023年シーズンは4月21日(金)に開幕。第2回開催の4月30日には『第17回ばんえい十勝オッズパーク杯(BG2)』が行われた。今季初戦のスプリングカップを完勝したメモロボブサップが断然人



3月20日 ばんえい記念 メモロボブサップ

気に支持されたが第2障害でまさかの手間取り。立て直しに苦勞して8着に終わった。勝ったのは軽馬場で障害巧者ぶりを発揮したインビクタ。6歳だった昨年9月の岩見沢記念で初重賞制覇を果たし、今季最初の重賞ではレース後に島津新騎手が語ったように成長を感じさせる内容の逃げ切りだった。2着にはメジロゴウリキ、3着はアオノブラックと実績馬がしっかり上位を確保。メモロボブサップは残念な結果だったが、昨季17戦し馬券対象外は1戦のみの安定感。この一戦だけでは評価を落すことはできず、今回の上位馬とともに古馬重賞戦線で存在感を示してくれるだろう。

●牝馬戦線は主役不在

5月7日の牝馬限定重賞『第16回カーネーションカップ(BG3)』では成長著し

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2023年3月～2023年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/12	ポブラ賞(4歳・5歳)	200	ハツチャラ(牡4)	島津 新	ばんえい・鈴木邦哉
3/19	イレネー記念(3歳)	200	アシュラダイヤモンド(牡3)	西 謙一	ばんえい・松井浩文
3/20	ばんえい記念(4歳以上)	200	メモロボブサップ(牡7)	阿部武臣	ばんえい・坂本東一
4/30	ばんえい十勝オッズパーク杯(4歳以上)	200	インビクタ(牡7)	島津 新	ばんえい・松井浩文
5/7	カーネーションカップ(3歳以上牝)	200	ダイヤカツヒメ(牝4)	赤塚健仁	ばんえい・久田 守



4月30日 ばんえい十勝オッズパーク杯 インビクタ

い4歳馬ダイヤカツヒメが逃げ切り勝利。昨季のばんえいオクス以来の重賞2勝目を飾った。今季初戦で1番人気に支持されたサクラヒメは直線伸びきれず2着。古馬牝馬戦線には絶対的な女王が不在で重量や馬場次第では別の馬が台頭してくる可能性もありそうだ。

文●板垣雅己(ねっとばんばキングロー)

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

●32年ぶりの快挙達成

3歳三冠の一冠目、ダイヤモンドカップはミニアチュールが優勝。43回の歴史で32年ぶり2頭目の牝馬優勝となった。北海道12戦2勝からシーズン終了とともに水沢へ移籍して、岩手では5戦5勝と敵なしの状態だが、そのレース振りや血統面からはあまり2000メートル向きとも思えない。そのあたり佐藤祐司調教師は「ダイヤモンドカップを勝てたから東北優駿を目標にする。東北優駿で良い競馬ができればダービーグランプリを目指すという流れだが、この路線には拘らない」と。本稿時点で結果の出ていない東北優駿の結果と状態次第だ



4月30日 ダイヤモンドカップ ミニアチュール

が、距離適性を考えて門別1200メートルの星雲賞へ遠征するプランなどもあるようだ。

●ネクストスターへ向けた戦い

2歳新馬戦は5月21日に盛岡競馬場でスタートし、トビーズコーナー産駒のセイフェミニンが勝った。昨年のフジラプンツェルは新馬戦から5連勝したが、例年1つめの新馬戦からは大物が飛び出す可能性が高いだけに、今回の出走馬にも注目を続けたい。またこの開催は芝保護のため、ダートでの実施だった。このため芝を狙う馬は7月以降の盛岡開催で出走することとなる。今年の2歳は全日

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2023年3月～2023年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/19	あやめ賞(3歳牝)	水沢1400	ミニアチュール(牝3)	山本政聡	岩手・佐藤祐司
4/2	スプリングカップ(3歳)	水沢1600	ミニアチュール(牝3)	山本聡哉	岩手・佐藤祐司
4/9	赤松杯(3歳以上)	水沢1600	グローリーグローリー(牡8)	山本聡哉	岩手・菅原 勲
4/16	留守杯日高賞(3歳牝)	水沢1600	ワイズゴールド(牝3)	山本聡哉	大井・市村 誠
4/23	栗駒賞(3歳以上)	水沢1400	ゴールデンヒーラー(牝5)	山本聡哉	岩手・佐藤祐司
4/30	ダイヤモンドカップ(3歳)	盛岡1600	ミニアチュール(牝3)	山本聡哉	岩手・佐藤祐司
5/7	シアンモア記念(3歳以上)	盛岡1600	ノーブルサターン(牡9)	高松 亮	岩手・板垣吉則
5/21	あすなる賞(3歳以上)	盛岡1800	グローリーグローリー(牡8)	山本聡哉	岩手・菅原 勲
5/28	イーハトーブマイル(3歳)	水沢1600	ケープライト(牝3)	山本聡哉	岩手・佐藤浩一



4月23日 栗駒賞 ゴールデンヒーラー

本レベルでダート路線の整備がされる最初の世代であり、10月3日に第1回のネクストスター盛岡競走が行われる。ここへ向けて各馬が力を入れてくることは明らかであり、そのステップとなるピギナーズカップも注目度が高くなるだろう。

文●深田桂一(ケイシュウNEWS)

金沢競馬

場番号 41#

●父の背を追いかけて騎手デビュー

今年4月から加藤翔馬騎手がデビューし、金沢競馬を盛り上げている。ハクサンアマゾネスなどを管理する加藤和義調教師の長男で「父の騎手引退レースを見て格好いいと思った」と中学卒業後騎手を目指した。地元石川県出身の騎手誕生は藤田弘治騎手以来22年ぶりとあって、4月2日のデビュー日からいきなり8鞍も騎乗依頼があり、第2レースをトップモリスで逃げ切ってわずか2戦目で初勝利を飾った。「スタートが速い馬なので前に行って減量を生かした方がいいと考えた。思った通りのレースができた」と冷静に振り返り、当日第6レース発売中にファンの前で行われた新人騎手紹介



デビュー2戦目で初勝利を挙げた加藤翔馬騎手

式では挨拶とともに初白星を飾った喜びの声を届けた。

トップモリスへ騎乗依頼した中川雅之調教師も40年前に父（中川一男元調教師）の厩舎所属で騎手デビューしており「2世ジョッキーのプレッシャーはハンパないことは自分も経験したのでよく分かっている。それだけの覚悟を持って騎手を選んだのだから、負けずに頑張ってもらいたい」とエールを送った。

同じ加藤和義厩舎所属の先輩・吉原寛人騎手が面倒を見ており、検量室ではアドバイスを受けている姿をよく見かける。「分からないことを聞く場合が多いけど、ダメな時は吉原さんから言われます」とうなずく。5月16日のJRA交流金沢城賞では中央1勝クラスのサダムゲ



4月9日 金沢競馬移転50周年記念 ハクサンアマゾネスに騎乗し見事勝利を収めた。中央馬の鞍上に地方の新人が抜てきされるのはまれなことだが、中央のレースリプレイを何度も見返してチャンスを生かした。吉原騎手は「子どもの頃から知っているけど真面目でいい子。これからの時代はこういう騎手が伸びていくのかもしれない」と語った。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2023年3月～2023年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
4/9	金沢競馬移転50周年記念(4歳以上)	1900	ハクサンアマゾネス(牝6)	吉原寛人	金沢・加藤和義
4/23	金沢スプリングカップ(4歳以上)	1500	オヌシナニモノ(牡6)	吉田晃浩	金沢・佐藤 茂
5/2	ノキリシマ賞(3歳牝)	1500	ショウガタツプリ(牝3)	沖 静男	金沢・高橋俊之
5/7	利家盃(4歳以上)	2000	ハクサンアマゾネス(牝6)	吉原寛人	金沢・加藤和義
5/14	北日本新聞杯(3歳)	1700	ノブノビスケツツ(牡3)	青柳正義	金沢・加藤和宏
5/21	お松の方賞(3歳以上牝)	1500	ベニスビーチ(牝5)	吉原寛人	金沢・中川雅之

笠松競馬



場番号 42#

●復帰待たれるエース2頭

不名誉にも昨年6月のクイーンカップでのドミニクを最後に、笠松勢は地元重賞で勝ち星を挙げられておらず、笠松ファンの苦々しい思いは春シーズンも続いた。3～5月の3カ月では、3月の北陸・東海・近畿の3地区交流重賞・マーチカップこそ、ベテランのウインハピネス(牡8、森山英雄厩舎)が後方追走かららしさを発揮。懸命にしぶとく追い上げて1馬身半差2着に食い込んだ。しかし笠松重賞戦線で、地元勢が連対を果たしたのは同馬だけ。他地区との交流重賞では見せ場少なく終わる馬が多く、東海限定重賞で



3月23日 マーチカップ ロッキーブレイヴ

は、名古屋勢に相変わらずあっさり優勝を奪われた。昨今は、古馬の笠松・オープンでもその傾向が強くなり、期間中の3レース中、2レースで名古屋勢にワンツーを許した。

少しだけ溜飲を下げたのは、3月の名古屋・中京ペガスターカップでのスタンレー(牡3、後藤正義厩舎)だった。マイナス21キロの大幅馬体減ながら、好位キープから絶好の手ごたえで鮮やかに抜け出し、初の重賞タイトルを獲得した。「やはり力があります。向正面で少し気合をつけたら即座に反応した。なかなか重賞で結果が出せなかったからうれしいですね」と藤原幹生騎手は胸を張ってヒーローインタビューで話した。

しかし、好事魔多し。5月駿蹄賞に向けた追い切り後にスタンレーは脚元に不



4月27日 オグリキャップ記念 セイカメテオポリス

安を発生。駿蹄賞だけでなく、東海ダービーに駒を進めることなく春競馬を終えた。一方、古馬シーンをけん引するウインハピネスは元々体質が弱く、マーチカップ後はレースから遠ざかっている(5月31日現在)。ベテランと3歳、2頭のエースの復帰や復活がなんとも待ち遠しいものである。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2023年3月～2023年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/23	マーチカップ(4歳以上)	1900	ロッキーブレイヴ(牡5)	岡部 誠	名古屋・竹下直人
4/5	新緑賞(3歳)	1600	リストン(牡3)	丸野勝虎	名古屋・荒巻 透
4/27	オグリキャップ記念(4歳以上)	2500	セイカメテオポリス(牡5)	吉原寛人	大井・渡邊和雄
5/25	ぎふ清流カップ(3歳)	1400	スマイルジョナス(牡3)	笹田知宏	兵庫・渡瀬寛彰

写真●愛知県競馬組合

名古屋競馬

場番号 43#

●無敗のダービー馬誕生

名古屋・春シーズンも主役はセブンカラース(牝3、川西毅厩舎)だった。ゆったりしたローテーションで東海ダービーへ臨むため、ステップに選択した4月東海クイーンカップでは後続を大差ちぎってV。そして大一番は単勝1.2倍のファンの圧倒的人気にこたえデビュー8連勝で、2019年エムエスクイーン以来、無敗のまま見事ダービーを制した。

セブンカラースは速く、強かった。ゲートを鋭く飛び出し、難なく先制。リズムカルに駆け、後続に1馬身程度のセーフティリードを保ってレースを支配し続けた。さすがに前走より400メートル



3月14日 中京ベガスターカップ スタンレー

延長した初距離2100メートル戦。いつもの圧倒パフォーマンスは見せられなかったが、3馬身差快勝で世代頂点をあっさり極めた。

「1回も負けてないからプレッシャーがありました。もっと楽に勝てると思ったけど……。やっとおいしいビールが飲めますね」と山田祥雄騎手はホッと息をついて喜びに浸った。6回目の東海ダービーVの川西毅調教師も同様だった。「勝って当たり前と思われるから苦しかった……。この1カ月間、よく眠れなかったし、やっとなれる。距離はマイルあたりが一番かな。まだまだ成長しないとだけ、これまでのダービー馬とは



5月31日 東海ダービー セブンカラース

モノが違うよ」。安堵感に包まれ、今後にエールを送った。

ダービー後は夏休みをとり、秋に備える予定だ。どこまで無傷の連勝を伸ばすか。東海競馬ファン一番の関心事になるのは間違いない。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2023年3月～2023年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/14	中京ベガスターカップ(3歳)	1700	スタンレー(牡3)	藤原幹生	笠松・後藤正義
3/16	名古屋大賞典JpnⅢ(4歳以上)	2000	ハギノアレグリアス(牡6)	川田将雅	JRA・四位洋文
3/30	若草賞土古記念(3歳牝)	1500	サラキャサリン(牝3)	松木大地	兵庫・新井隆太
4/11	東海桜花賞(4歳以上)	1500	ルーチェドーロ(牡5)	櫻井光輔	川崎・池田 孝
4/20	東海クイーンカップ(3歳牝)	1700	セブンカラース(牝3)	山田祥雄	名古屋・川西 毅
5/2	かきつばた記念JpnⅢ(4歳以上)	1500	ウィルソンテソーロ(牡4)	川田将雅	JRA・小手川 準
5/3	駿蹄賞(3歳)	2000	リストン(牡3)	丸野勝虎	名古屋・荒巻 透
5/31	東海ダービー(3歳)	2100	セブンカラース(牝3)	山田祥雄	名古屋・川西 毅

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

●春の重賞戦線を振り返る

3歳戦線はベラジオソノダラブが席巻した。兵庫ユースカップでは竹村達也騎手とのコンビで勝利して同騎手に12年ぶりのタイトルをプレゼントすると、続く一冠目の菊水賞では田中学騎手に戻り、2歳時からライバルだった牝馬スマイルミーシャとの一騎打ちを制して重賞を連勝した。「園田を愛する」オーナーの思いがこもった馬名だが、この活躍で全国のファンに名を轟かせたことだろう。また、今年初戦の菊水賞で初黒星を喫したスマイルミーシャだが、続くのじぎく賞では5馬身差の圧勝だった。兵庫ダービーではどちらが頂点に立ったのだろうか。

古馬戦線の主役はラッキードリーム。



4月6日 菊水賞 ベラジオソノダラブ

佐賀記念JpnⅢではレース前からイレ込みがキツく6着で不完全燃焼に終わったが、地元に戻ると実力を発揮。兵庫大賞典を制して、兵庫で3つめのタイトルを獲得した。一方、心配なのは兵庫大賞典を回避したジンギ。左前脚斜種子骨靭帯損傷だったが、幸い大事に至らずにウォーキングマシーンで運動を再開している。復帰時期は未定だが、ラッキードリームとの再戦を期待したい。

●ルーキーがデビュー迎える

今年最初の2歳初出走が5月24日に行われ、飯田良弘厩舎のダイジョバナイが評判通りのスピードを見せて快勝した。大山真吾騎手は「乗り心地は良かったですし、手応えに余裕がありました」と高く評価した。今年から2歳戦線はネクストスター競走の新設など体系が大きく変

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2023年3月～2023年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/2	兵庫ユースカップ(3歳)	姫路1400	ベラジオソノダラブ(牡3)	竹村達也	兵庫・坂本和也
4/6	菊水賞(3歳)	園田1700	ベラジオソノダラブ(牡3)	田中 学	兵庫・坂本和也
5/3	兵庫チャンピオンシップJpnⅡ(3歳)	園田1870	ミトノオー(牡3)	武 豊	JRA・牧 光二
5/4	兵庫大賞典(4歳以上)	園田1870	ラッキードリーム(牡5)	武原 理	兵庫・新子雅司
5/11	のじぎく賞(3歳牝)	園田1700	スマイルミーシャ(牝3)	吉村智洋	兵庫・飯田良弘

写真●兵庫県競馬組合



4月18日に初勝利を挙げた山本屋太三騎手

更されるが、この馬も大舞台に名を連ねてくるだろう。

新人騎手が各地でデビューしているが、兵庫では山本屋太三騎手が4月13日にデビューした。勝負服は師匠の坂本和也調教師の騎手時代のものに袖・白一本輪が加わったもの。これまでの勝利も逃げが多く、師匠を彷彿とさせる騎乗を見せてくれそうだ。

文●松本健史(大阪日刊スポーツ)

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●無人の荒野を行く

4月30日の『第27回黒潮皐月賞』はユメノホノオ、デステージョが直線、壮絶な追い比べを展開。ユメノホノオが僅かアタマ差だけ先着したが、3着以下には2秒近い差をつけており完全に2頭が主役の一戦となった。5月20日の準重賞・山桃特別にはデステージョの出走がなくユメノホノオが8馬身差で独走。吉原寛人騎手（金沢）とコンビを組んだ昨秋以降、負けなしの7連勝達成となった。スタートやコーナーワーク等、まだ粗削りな面こそあるが、近年、稀に見る器であることは衆目の一致するところ。さらに



4月30日 黒潮皐月賞 ユメノホノオ

大きなステージでの活躍が期待される。

●大雨の中での激闘

5月30日の『第14回福永洋一記念』。人気はガルボマンボ、モダスオペランディに集中したが、早め先頭から堂々と押し切ったのは単勝6番人気のアポロティアモだった。3月の御厨人窟賞（1400メートル）でモダスオペランディのクビ差2着等、重賞でも戦える点は証明済みだったが良績は1400メートルに集中。メンバーレベルからも伏兵の域を出なかったが、大雨の影響によるスピード馬場を味方につけ、レースレコードタイムで圧巻の走りを披露した。鞍上は初コンビだった多田羅誠也騎手。同レースは初勝利であり田中守調教師は5勝目。2着モダスオペランディとのワンツー決着でもあ



5月30日 福永洋一記念 アポロティアモ

った。なおガルボマンボは4着。スピード馬場に泣いたが、舞台が替わればまた息を吹き返してくるだろう。多田羅騎手は同日に行われたJRA未勝利との交流・桂浜盃も制覇。思えば昨年宮川実騎手も桂浜盃、福永洋一記念のダブル優勝だった。是非、ご参考までに。

文●風間恒一（中島高級競馬塾）

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2023年3月～2023年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性別)	騎手名	所属・調教師名
3/14	黒船賞 JpnⅢ(4歳以上)	1400	シャマル(牡5)	川田将雅	JRA・松下武士
3/19	土佐春花賞(3歳)	1300	ユメノホノオ(牡3)	吉原寛人	高知・田中 守
3/26	御厨人窟賞(4歳以上)	1400	モダスオペランディ(牡7)	赤岡修次	高知・田中 守
4/16	二十四万石賞(4歳以上)	1900	ガルボマンボ(牡4)	林 謙佑	高知・細川忠義
4/30	黒潮皐月賞(3歳)	1400	ユメノホノオ(牡3)	吉原寛人	高知・田中 守
5/30	福永洋一記念(4歳以上)	1600	アポロティアモ(牡6)	多田羅誠也	高知・田中 守

佐賀競馬



場番号 61#

写真●佐賀県競馬組合

●今年は三冠後に西日本ダービー

1着賞金が2000万円と史上最高額になった九州ダービー栄城賞は、佐賀皐月賞2着だったテクノゴールドが勝利。向正面から仕掛けていき4コーナーで先頭に立つとそのまま押し切った。同馬を管理する鮫島克也調教師は、騎手時代は地方通算5054勝を挙げて2021年12月に調教師へ転身。22年2月の初出走から1年3カ月での重賞初勝利となった。今年は3歳三冠目のロータスクラウン賞が昨年より約1カ月半早い8月13日開催で、九州ダービー栄城賞までの勢力図がそのまま移行していきそう。今年は佐賀開催となる西日本ダービーは、出走資格のあ



5月28日 九州ダービー栄城賞 テクノゴールド

る佐賀デビュー馬の中ではミヤノウッドリーが3歳二冠ともに最先着（3着、6着）だが重賞タイトルにはあと一步届いておらず、ロータスクラウン賞での奮起に注目したい。

●古馬はリュウノシンゲン一強

リュウノシンゲンは昨年、中島記念など重賞2勝を挙げ、今年に入ってから1400メートルの九州クラウン、1800メートルの佐賀スプリングカップを勝利と、昨年同様に距離不問で順調に勝ち星を積み上げている。今年夏場は休養に充てる方針で「遠征にも行きたいですが、秋口からですかね」（山田徹調教師）と、佐賀の大將格として秋以降の飛躍が期待される。

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2023年3月～2023年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性別)	騎手名	所属・調教師名
3/5	飛燕賞(3歳)	1400	ディーディーデイ(牝3)	飛田愛斗	佐賀・三小田幸人
3/12	はがくれ大賞典(3歳以上)	2000	グリードパルフェ(牡7)	林 謙佑	高知・田中 守
3/26	九州クラウン(3歳以上)	1400	リュウノシンゲン(牡5)	山田義貴	佐賀・山田 徹
4/9	ル・ブランタン賞(3歳牝)	1800	マルグリッド(牝3)	下原 理	兵庫・新子雅司
4/16	佐賀ヴィーナスカップ(4歳以上牝)	1400	ジュランビル(牝7)	下原 理	大井・福永 敏
4/30	佐賀皐月賞(3歳)	1800	ネオシエル(牡3)	山口 勲	佐賀・真島元徳
5/14	佐賀スプリングカップ(3歳以上)	1800	リュウノシンゲン(牡5)	山田義貴	佐賀・山田 徹
5/28	九州ダービー栄城賞(3歳)	2000	テクノゴールド(牡3)	和田譲治	佐賀・鮫島克也



5月14日 佐賀スプリングカップ リュウノシンゲン

短距離路線はリュウノシンゲンが休養となれば傑出馬不在の情勢。吉野ヶ里記念からサマーチャンピオンJpnⅢへ向けて、強力な転入馬が現れることがあれば一気に台頭するシーンもあるかもしれない。

文●上妻輝行

競馬場別
騎手リーディング **Top3**

(2023年1月1日～5月5日)

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	323	50	41	23	15.5	28.2	31,442,000
2	島津 新	307	43	30	23	14.0	23.8	26,031,500
3	今井千尋	280	41	43	33	14.6	30.0	21,966,000

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山本聡哉	131	44	20	14	33.6	48.9	50,949,000
2	高松 亮	192	31	21	24	16.1	27.1	25,868,000
3	坂口裕一	179	30	22	25	16.8	29.1	26,654,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	青柳正義	108	22	13	17	20.4	32.4	15,704,000
2	米倉 知	70	20	16	6	28.6	51.4	13,094,000
3	栗原大河	128	16	17	16	12.5	25.8	13,221,000

東海地区(笠松競馬・名古屋競馬)

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	478	108	73	69	22.6	37.9	94,167,000
2	渡邊竜也	293	79	48	29	27.0	43.3	53,276,000
3	今井貴大	403	58	59	55	14.4	29.0	54,454,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	渡邊竜也	244	76	45	25	31.1	49.6	41,243,000
2	藤原幹生	242	35	30	30	14.5	26.9	23,558,000
3	岡部 誠	143	30	18	21	21.0	33.6	30,509,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	335	78	55	48	23.3	39.7	63,658,000
2	加藤聡一	330	51	53	36	15.5	31.5	46,157,000
3	今井貴大	343	47	49	47	13.7	28.0	44,797,000

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	426	121	88	58	28.4	49.1	180,503,000
2	下原 理	402	83	52	48	20.6	33.6	165,600,500
3	田中 学	346	65	50	42	18.8	33.2	128,739,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	赤岡修次	179	63	18	18	35.2	45.3	107,417,500
2	永森大智	224	45	30	26	20.1	33.5	66,462,500
3	吉原寛人	138	42	31	15	30.4	52.9	86,410,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山口 勲	233	45	45	27	19.3	38.6	53,080,000
2	竹吉 徹	244	37	28	29	15.2	26.6	31,425,000
3	飛田愛斗	283	36	35	44	12.7	25.1	35,745,000

競馬場別
調教師リーディング **Top3**

(2023年1月1日～5月5日)

ばんえい競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	松井浩文	270	51	31	25	18.9	30.4	43,936,000
2	坂本東一	287	34	31	35	11.8	22.6	35,157,000
3	服部義幸	251	34	22	18	13.5	22.3	15,127,000

岩手競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	菅原 勲	131	24	14	16	18.3	29.0	22,120,000
2	伊藤和忍	123	21	17	8	17.1	30.9	15,418,000
3	板垣吉則	106	16	21	15	15.1	34.9	20,474,000

金沢競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	加藤和宏	132	37	19	9	28.0	42.4	20,680,000
2	金田一昌	189	22	22	23	11.6	23.3	16,885,000
3	中川雅之	153	22	18	27	14.4	26.1	21,089,000

東海地区(笠松競馬・名古屋競馬)

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	笹野博司	309	71	46	42	23.0	37.9	41,899,000
2	角田輝也	332	66	53	42	19.9	35.8	61,514,000
3	今津博之	313	58	33	33	18.5	29.1	53,661,000

笠松競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	笹野博司	305	71	45	42	23.3	38.0	40,983,000
2	後藤佑耶	255	39	35	19	15.3	29.0	23,524,000
3	加藤幸保	295	37	25	38	12.5	21.0	23,689,500

名古屋競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	角田輝也	303	58	44	39	19.1	33.7	50,581,000
2	今津博之	276	45	25	27	16.3	25.4	44,097,000
3	川西 毅	126	43	16	20	34.1	46.8	45,889,000

兵庫競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	柏原誠路	102	36	21	10	35.3	55.9	48,253,000
2	新子雅司	109	33	21	10	30.3	49.5	98,684,000
3	飯田良弘	152	31	25	22	20.4	36.8	54,955,000

高知競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	田中 守	279	73	35	34	26.2	38.7	157,457,500
2	打越勇児	266	69	52	32	25.9	45.5	118,505,000
3	雑賀正光	354	55	52	44	15.5	30.2	97,392,500

佐賀競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	手島勝利	265	40	38	25	15.1	29.4	34,340,000
2	山田 徹	207	35	15	24	16.9	24.2	29,921,000
3	九日俊光	244	34	28	20	13.9	25.4	23,743,000

ジョッキーインタビュー

取材・文●浅野靖典

青柳正義騎手は2022年も金沢競馬でのリーディングを獲得して、2023年のジョッキーズチャンピオンシップに出場する。

まずはクジ運ですね。どういう馬に乗れるのか、それが最大のポイントです。今年も盛岡競馬場からですが、左回りも心配していないですよ。金沢以外の競馬場で乗るのは本当にいい経験で、でも重賞で行くのとジョッキーレースで行くのとでは気持ちから違います。なかなかできない経験をさせてもらっているのはありがたいことです。

青柳騎手のデビューは2003年。最初の9年ほどは年間9勝から20勝前後という成績が続いていた。

最初のころはずっとそんな感じで、それこそ8年目のころに「このままでは良くないな」と思うことが多くなりました。それが実際に意識として出てきたきっかけは、中川（雅之）さんがそろそろ調教師になれるというあたり。中川さんが騎手を引退される前から「数字がないと乗せてあげられないんだから頑張れ」と言われたことで変わったように思います。それからは日頃のトレーニングもそうですし、レース後の振り返りをそれまで以上にしました。それと気持ちですね。若手のころは「欲がない」といろいろな人に言われていたんですよ。それを変えていこうと考えましたね。具体的には「乗せてもらうためにはどうするか」ということ。そのために、レースでは積極的に行くことを心がけました。勝ちに行くという姿勢を常に見せるようにしたことが伝わったのかもしれないですね。ただ、周りに迷惑をかけた、怒られたりしたことも多かったとは思っています。

そして成績が徐々に上昇して、2014年に出会ったのがケージーケンカメ。当時は石川ダービーが創設される前で、東海ダービーに遠征して勝利を挙げた。

あのときは緊張しましたね。振り返ってみてもハードな経験でした。出走馬の顔ぶれを見て「僕がしっかりすれば大丈夫」とは思ったのですが、実際のところは馬に助けってもらったなというところ。それでも大舞台で勝ったことで、その後の自信に



写真●兵庫競馬組合

スーパーバンタムで制した22年西日本ダービー

つながりました。

その一方で、ダービーでは痛い経験もしている。2017年の第1回石川ダービーでは、単勝1番人気のヤマミダンスで4着に敗れた。

あれは逆の意味で思い出に残るレースのひとつです。あのときは1番人気で勝ちたいという思いが強くて、僕が前のめりになっていました。あのレースはもっと乗りようがありましたね。

その5年後となる昨年、石川ダービーをスーパーバンタムで制した。

馬が3歳になってから成長してくれて、結果的に見ると実力が抜けていたという形でした。僕もそれまでのダービーの時とは違って、落ち着いて乗ることができました。そのあとの西日本ダービーは、出走メンバー的に先行策を取るしかないと考えて、最後は接戦になりましたが勝ち切ってくれました。そのあと骨折したので休んでいますが、復帰したら白山大賞典JpnⅢを目指せればと思っています。

青柳騎手は2018年に金沢リーディングを獲得したが、その翌年は1勝差で2位。そして2020年はケガで長期離脱があった。

1月にグルームアイランドで姫路の白鷺賞に遠征したときに落馬して、左手を骨折してしまいました。それが治るのに3カ月ほどかかったところで、こんどは足を骨折。2020年は僕にとっての厄年でした。ただ、馬に乗れない時期が続いたおかげで、競馬を客観的に見られる時間ができました。考える時間もたくさんあったので、それからは日常生活や食生活にも気を遣うようになりました。まさに怪我の功名ですね(笑)。

青柳騎手が東海ダービーを勝った頃は、全国的に競馬をとりまく環境が厳しい時期だった。

その当時に比べると、今の手当などの水準は2.5倍くらいかな。その当時は若かったからなんとなくあったのだと思いますが、あの頃の水準に戻ったらやっていけないですよ。そんな時期を乗り越えて、おかげさまで馬券の売上が伸びてきているのは本当にありがたいことです。

とはいえ、金沢の売上は他の競馬場比べるとまだまだ。それを打破すべく、競馬場に新しい照明設備が作られた。

とても明るくて、調教もレースも乗りやすいです。ナイターもできると思うんですが、どうなのかなあ。金沢競馬は基本的に逃げ先行が有利ですが、雨が降ると全体的に流れが速くなることが多いのか、差しが届くことが多くなるように思います。逆にパサパサだと前が残りますね。インコース

青柳正義 (金沢)

あおやぎ まさよし



1985年4月5日生まれ おひつじ座 A型
千葉県出身 鈴木正也厩舎
初騎乗/2003年4月6日
地方通算成績/10,699戦1,227勝
服色/胴黒・黄のこぎり齒形、袖青
重賞勝ち鞍/百万石賞、石川ダービー、北日本新聞杯(5回)、東海ダービーなど25勝
※2023年5月22日現在

は砂が深くなっているのが、危険な形になることが少なくなりました。

金沢競馬は1月と2月がお休み。以前はその時期に育成牧場などに行くことが多かったが、2019年は兵庫、2022年から23年にかけては笠松競馬で期間限定騎乗をした。

やっぱり騎手はレースに乗っているのがいちばん。笠松はいろいろなところから騎手が来るので、それぞれの競馬場の事情を聞けるのが面白いし、刺激になります。レースでも金沢だとほかの騎手の性格を知っていることもあって展開を読みやすいのですが、違う競馬場だとそう簡単にはいきません。そして来年の冬は大井競馬場で期間限定騎乗をすることになりました(2024年1月22日～3月22日)。レースに乗るのはなかなか難しいかもしれませんが、どんな経験ができるのか楽しみにしています。

話は戻るが、青柳騎手は地方競馬ジョッキーズチャンピオンシップでは、いくつかの苦い記憶がある。

クジ運が本当に悪くて、14名から12名に絞られるところで、その2名に入ってしまったことがありました(2019年)。今年は12名からのスタートなので、全員がファイナルステージに進めるというのが何よりです。切なかったのは、第2ステージで乗る馬がいきなり競走除外になったとき(2013年)。そういう経験があるので、代表の座を勝ち取るのは本当に大変なことだと実感しています。でもひとつ言えるのは、これからもそういう舞台に出るためにリーディングを続けていきたいということ。数字的な目標は2000勝ですね。20代のころは1000勝なんて数字を言える立場ではなかった僕がここまで来ることができたのだから、それなら2000勝を目指していこうと思っています。(インタビューは5月11日に実施)

金沢の面白い話

坂井義彦さん(競馬ホープ)

取材・文●浅野靖典



金沢競馬は地方競馬では唯一となる、日本海側にある競馬場。かつてはほかの競馬場との交流が少なく、この地域ならではの感じがある点がある。そのうちのひとつが馬券発売額に占める現金投票率の高さ。そのニーズに対応する形で複数の専門紙が発売されている。今回は専門紙を通して金沢競馬を見続けてきた、競馬ホープの坂井義彦さんに話を伺った。

各社の競争意識が高い金沢の専門紙

僕がこの仕事を始めたのは、35年くらい前に家業を継いだ形。最初は一般企業で働いていましたが、父が病気になったことで引き継ぎました。それからずっとレースを見ていますが、とくに思い出に残る地元の名馬といえばミスタールドルフですね。安部竜司騎手で勝った1995年の白山大賞典(当時は金沢所属馬限定戦)が思い出に残っています。

その頃は週に3日の開催で、平日は4千人、休日で重賞があると1万人くらいの入場者数がありました。当時は娯楽が少なかったこともあって、そういう時代だったのだとは思いますが、馬券もよく売れていました。

だから専門紙もたくさんあって、多いときは5社。各社の競争意識はとても高く、どこも新聞のレベルを上げていこうという気持ちが強くありました。それが表れている代表的な例が、今では多くの競馬場で取り入れられている冊子形式。あれは「カナザワ」さんが最初に始めて、他社も追随していきました。うち(競馬ホープ)が最初に導入したのは「展開予想の図」。今では金沢競馬以外でも入れている新聞が増えましたね。

コロナ禍に行われた20年JBC金沢

でも2020年のJBCはもったいなかったなあ。抽選で1300人に入場券が当選したとのことでしたが、実際に来たのは1000人弱。馬主さんも本人だけしか入れてもらえなかったですからね。馬券の売り上げは良かったですが、さみしい風景でしたよ。そんななかでも吉原寛人騎手がいいところを見せてくれましたね。とにかく吉原騎手が活躍してくれたことが金沢競馬にとってよかったです。

でも新聞は売れませんでしたね。2013年のJBCはたくさんのお客さんで盛り上がり

たのと比べるとねえ。それも含めてですが、新型コロナウイルスを機に、これまでとは馬券を買う形が大きく変わったなと感じます。ネットでの発売が軌道に乗ったのは地方競馬にとって喜ばしいこと。でも現場にいる人たちの本音は、競馬はなるべくライブで見てほしい、ですね。

金沢競馬は自前で作った場外発売所がなくて、ほかの北陸3県も富山は競輪、福井は競輪とボートと、完全にすみ分けができています。個人的には長距離の無料バスを出すくらいなら、ミニ場外を作ればいいのかと思うんですが。

砂が変わり、傾向が変わった金沢競馬

昔は競馬場が金沢駅と西金沢駅の間であって、1973(昭和48)年に市街地から遠く離れた今の場所に移ってきたのですが、それから本当にいろいろありました。

まずは金沢の名騎手というくくりで言えば、最初に出てくるのが渡辺壮(2005年最終騎乗・地方通算2086勝、JRAで1勝)。スタートして好位の外につけたらまず負けなかったですね。そのあとは蔵重浩一郎(2004年引退・通算1555勝)。デビューからしばらくして、所属厩舎が変わってから一気に腕が上がりました。

以前の金沢競馬は富山の神通川で採った砂を使っていて、とにかく外枠が有利でした。でも笠松や名古屋と同じ白い砂が変わってからは、枠順はあまり関係ない感じになっていると思います。そして良馬場になると、先行馬がより有利。そのあたりを考えると、昔のほうが馬券を当てやすかった気がします(笑)。

今後は騎手と調教師がもっと増えてほしいものですね。開催日数が少なく冬は休みになるから、なかなか厳しいとは思いますが。その反面、金沢は昔から乗り替わりが他の競馬場に比べると少ないところがあるんですよね。調教に乗った人がレースも乗るといった傾向が、わりと強く残っていると思います。

時代の流れに対応する専門紙

金沢は他の競馬場と違って、県営と市営。だから職員さんの入れ替わりが多くて、そのせいなのか、新しいことをあまりやらないという面がありました。でもネット販売の数字が無視できない時代になってきたことで県も動いて、今年開幕前にしっかり

とした照明設備が完成しました。馬場の内側から外に向かって照らすので、スタンドからだとも馬の影が見えないんですよ。金沢競馬場は周囲に家が軒もないから、ミッドナイトもできますね。そうすると専門紙を印刷しても売れなくなるんですが(笑)。

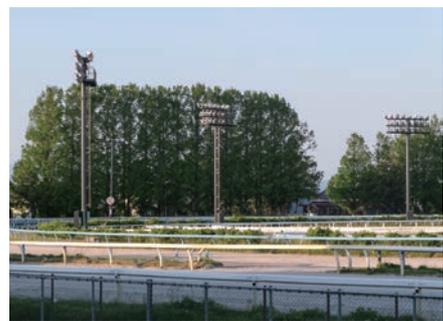
それでも照明設備の効果は早くも出ていて、昨年の春は17時すぎだった最終レースが18時台に繰り下がったことで、グリーンチャンネルの地方競馬中継で放映してもらえるようになりました。そのおかげで今年の春は、後半のレースの売り上げがとても良くなっています。

専門紙もそれに対応して、後半3レースは金沢競馬のホームページで誌面をまるまる公開しているんです。もちろん無料で。これは主催者さんが新聞の重要性を理解してくれたことが大きいですね。

それ以前から来場者が徐々に少なくなってきたことで、新聞の売れ行きも悪くなっていました。それで共倒れになるのはマズイぞと考えて、2019年の年末に専門紙の制作を合理化するために「カナザワ」と「キンキ」と「ホープ」をひとつの会社にまとめて、新聞制作に必要な部分を共有しました。その体制で頑張ろうと思ったら、2020年は開幕から無観客開催。その時期は経営的に厳しかったのですが、競馬を開催するならお客さんに必要なのは専門紙。その流れもあって、それまで以上に主催者さんには馬券を売るためのツールとして捉えてもらえるようになったと思います。

それをさらに進める形で、今日(5月9日)の第1レースの「無料ネット新聞うまかつ.net金沢賞」というレース名のとおり、コンビニのコピー機で金沢競馬の予想情報を印刷できるようになっているんです。これは佐賀競馬がやっているものを、金沢でも取り入れたという形です。

今の局長さんはどうすれば売り上げが増えるのか、本当によく考えてくださる方。そのために番組の作りかたも変えようとしているようです。場内もキレイになりました。この1年でどれだけ売り上げが変わるのか、期待して見ていきたいですね。やはり競馬は馬券が売れることがいちばん。専門紙も時代の流れに対応して、金沢競馬のために頑張っていければと思っています。



今季開幕前に照明設備が完成

7月→9月
注目レース
金沢競馬
データ分析

7～9月の金沢競馬では、3歳はサラブレッド大賞典が行われ、2022年まで牝馬

実施日	レース名(条件)	距離	22年の勝ち馬(所属)
7/9(日)	加賀友禅賞(3歳牝)	1400m	スーパーバントム(金沢)
8/8(火)	読売レディス杯(3歳以上牝)	1500m	グランパラディーゾ(大井)
8/27(日)	イヌワシ賞(3歳以上)	2000m	アイアムレジェンド(川崎)
8/29(火)	石川テレビ杯(2歳)	1400m	ショウガタプリ(金沢)
9/3(日)	サラブレッド大賞典(3歳)	2000m	スターフジサン(金沢)
9/24(日)	ネクストスター金沢(2歳)	1400m	新設
9/26(火)	白山大賞典 JpnⅢ(3歳以上)	2100m	ケイアイパープル(JRA)

限定戦だった金沢プリンセスカップからリニューアルした石川テレビ杯は、新設重賞・ネクストスター金沢のトライアルとなっている。3歳以上は、グランダム・ジャパンの読売レディス杯、当地唯一のダートグレー

ドである白山大賞典 JpnⅢが行われる。ここでは過去10回の、白山大賞典 JpnⅢ(13～22年)、読売レディス杯(地元限定で11月に行われた21年を除く12～22年)の傾向を見ていく。

9/26 白山大賞典 JpnⅢ

●今年3歳に軽量利

◇12月の名古屋グランプリ JpnⅡが、2022年に2500mから2100mに距離短縮となり、当レースは下半期のダートグレードでは最長距離タイの一戦となる。中距離のダートグレードが好ステップだが、なかでも同年のマーキュリーカップ JpnⅢを使われた馬は【4-1-4-11】(地方馬を含む)。特に近4回中3回で、同レース組が勝利を収めている。21年2着ミュウチャリー(船橋)は帝王賞 JpnⅠ・4着からの臨戦で、その後金沢で行われ

たJBCクラシック JpnⅠで地方馬として初制覇を成し遂げている。なお、同馬を除く地方勢で馬券絡みしたのべ3頭の出走は東京記念。

◇グレード別定重量戦で、勝ち馬は53～57kg。なかでも55kgが4勝を挙げ、2020年マスターフェンサー、21年メイショウカズサ、22年ケイアイパープルが3年連続勝利と近年相性が高い。58kg以上は未勝利。前述マスターフェンサーは21年も1番人気に推されたが58kgで4着に敗れた。ただし、55kg未満【2-5-4-69】(3着内率13.8%)に対し、56～60kgが【4-3-3-5】(同66.7%)と重量が

重い馬が不振ということではない。
◇3歳2勝、4歳3勝。5歳は未勝利だが、その3世代で5勝、2着7回、3着5回と馬券絡みの半数以上を占めるのが特徴。特にJRA所属の3歳は【2-1-2-3】で、重量は52～53kgの馬が好成績。2022年は兵庫チャンピオンシップ JpnⅡを勝ち55kgのブリッツファンクが1番人気で5着だったが、前走でレパードステークス GⅢを制し53kgのカフジオクタゴンが3着に入った。なお、9月に行われる今年10月実施の年より3歳は基準重量が1kg軽く51kgとなるのは有利。出走があれば注目したい。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性別	年齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
22.10.4 金沢2100m 曇・良 12頭	4	4	ケイアイパープル(JRA)	牡	6	55	藤岡康	村山明	2.13.1	2	3-3-1-1	マーキュリー C JpnⅢ④	平安 S GⅢ②
	7	9	ラーゴム(JRA)	牡	4	55	鮫島駿	齋藤崇	2 1/2	4	4-4-2-3	プロキオン S GⅢ⑫	吾妻小富士 S①
	1	1	カフジオクタゴン(JRA)	牡	3	53	岩田望	矢作芳	アタマ	3	6-5-4-2	レパード S GⅢ①	J阪神・2勝クラス①
21.9.22 金沢2100m 雨・不良 12頭	6	7	メイショウカズサ(JRA)	牡	4	55	川田将	安達昭	R2.10.3	5	1-1-1-1	阿蘇 S⑥	プロキオン S GⅢ①
	6	8	ミュウチャリー(船橋)	牡	5	54	吉原寛	矢野義	3	2	6-5-3-4	帝王賞 JpnⅠ④	大井記念①
	4	4	スワーヴアラミス(JRA)	牡	6	55	松田大	須貝尚	クビ	3	2-2-2-3	エルム S GⅢ①	マリーン S①
20.9.29 金沢2100m 晴・稍重 12頭	8	11	マスターフェンサー(JRA)	牡	4	55	川田将	角田晃	2.13.6	1	5-3-4-1	マーキュリー C JpnⅢ①	スレイブニル S②
	5	5	ロードレガリス(JRA)	牡	5	54	武豊	野中賢	クビ	2	3-2-1-1	平安 S GⅢ⑩	アルデバラン S①
	3	3	ロードゴラッソ(JRA)	牡	5	55	藤岡佑	藤岡健	2	4	7-7-6-5	エルム S GⅢ⑪	アンタレス S GⅢ⑧

8/8 読売レディス杯

●近年大井が躍進

◇所属別では、大井【4-3-2-4】と兵庫【2-3-1-4】が好成績。特に大井は2017年に初勝利を挙げて以降、毎年馬券絡みしている。年齢別では、4歳【7-3-2-34】、6歳【2-2-5-16】で合わせて9勝。大井と兵庫に限ると、4歳+6歳【5-3-3-4】では3着内率が73.3%に跳ね上がる。

◇1番人気【4-3-0-3】、2番人気【4-2-1-3】で計8勝をマーク。1、2番人気の両方も馬券圏内を外したのは2015、19年の2回。兵庫サマークイーン賞が当レースの前に実施されるようになったのが15年で、その年は同レース2着のケンブリッジナイス(船橋)が1番人気で4着。19年は同レース組の1、2番人気馬が7、4着だった。兵庫サマークイーン賞→読売レディス杯と連勝を狙った馬は

すべて4着以下と結果が出ていない。なお、近2回は前走がスパーキングレディーカップ JpnⅢだった2頭とも連対を果たしている。
◇地元の名手・吉原寛人騎手は騎乗があれば人気を集めるが、遠征馬とコンビを組んだときは【3-2-0-3】。田知弘久騎手はすべて金沢の馬(いずれも6番人気以下)に騎乗しながら【1-0-2-1】の好成績を残している。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性別	年齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
22.8.2 金沢1500m 晴・良 12頭	5	5	グランパラディーゾ(大井)	牝	4	55	本田重	渡邊和	1.33.1	1	5-5-4-2	スパーキング LC JpnⅢ(牝)⑤	J東京・3勝クラス⑤
	7	9	アルコールヌ(大井)	牝	5	55	赤岡修	藤田輝	2	2	1-1-1-1	佐賀ヴィーナス C(牝)②	しらさぎ賞(牝)③
	6	8	ゴールデンヒーラー(岩手)	牝	4	55	山本聡	佐藤祐	5	3	4-4-2-4	みちのく大賞典②	シアンモア記念③
20.8.18 金沢1500m 晴・良 11頭	8	10	アークヴィグラス(北海道)	牝	4	55	吉原寛	小野望	1.34.3	2	2-2-1-1	グランシャリオ門別 SP④	ヒダカソウ C(牝)②
	8	11	サラブ(大井)	牝	5	55	森泰斗	藤田輝	3	1	4-3-2-2	スパーキング LC JpnⅢ(牝)⑥	大井・オープン②
	7	9	エースウィズ(大井)	牝	6	55	水野翔	松浦裕	7	5	11-11-9-8	大井・B1B2⑨	大井・A2B1⑨
19.8.20 金沢1500m 曇・不良 11頭	2	2	ジェッシージェニー(大井)	牝	4	55	藤田凌	福永敏	1.35.4	5	10-8-8-1	大井・B3①	大井・B2B3(牝)③
	3	3	スプリングガール(高知)	牝	6	55	林謙佑	田中守	2 1/2	6	3-3-5-6	トレノ賞②	高知・準重賞(牝)①
	4	4	フジノナデシコ(金沢)	牝	6	55	田知弘	加藤和	1	8	9-10-9-8	金沢・A1級一組③	金沢・オープン(牝)①

※ 21年は11月に金沢所属馬のみで実施

金沢競馬場

サイヤーランキング

2021年5月3日～2023年5月2日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■総合(1897レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
パイロ	130,680	33	213	24	ミューチャリー
ロードカナロア	80,673	38	240	25	レッドルゼル
シルポート	63,054	36	201	12	ハクサンアマゾネス
ジャスタウェイ	52,741	16	121	19	テオレーマ
フリーオン	39,988	36	197	17	スターフジサン
スウェプトオーヴァーボード	37,418	16	76	10	オメガパフューム
ゴールドアリュール	36,992	11	134	14	サンライズノヴァ
シニスターミニスター	36,358	24	190	20	ファストフラッシュ
アドマイヤムーン	36,180	52	399	25	スノームーンライト
オルフェーヴル	34,669	26	172	23	ネオアマゾネス

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利回数順)
アドマイヤムーン	52	49	399	25	11	スノームーンライト
ロードカナロア	38	29	240	25	12	ヴィトラス
シルポート	36	27	201	12	9	ハクサンアマゾネス
フリーオン	36	25	197	17	10	クラールハーモニー
ヴィクトワールピサ	34	24	220	21	13	プレゼンス
パイロ	33	24	213	24	14	ギンちゃん
ダンカーク	32	11	271	26	11	サエチ
マジスティックウォリアー	32	9	155	15	10	スペシャルサンデー
ワールドエース	31	21	192	21	13	ノボノノ
モーリス	31	21	141	20	12	キープオンラビン

■1400m(838レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ロードカナロア	70,080	21	103	18	レッドルゼル
ゴールドアリュール	24,409	3	37	8	サンライズノヴァ
アドマイヤムーン	15,675	23	173	23	スノームーンライト

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利回数順)
アドマイヤムーン	23	26	173	23	9	スノームーンライト
ロードカナロア	21	16	103	18	11	チェルビクヒム
ルーラーシップ	19	13	121	17	7	ライムワード

■1500m(928レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ジャスタウェイ	44,472	4	61	16	テオレーマ
シルポート	17,530	20	117	11	ハクサンアマゾネス
アドマイヤムーン	16,397	26	188	20	ムーンランディング

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利回数順)
アドマイヤムーン	26	19	188	20	10	ムーンランディング
シルポート	20	19	117	11	9	ハクサンメモリー
ヴィクトワールピサ	19	11	111	20	7	ガムラン

■1700m(88レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ダンカーク	6,086	5	7	2	ハイパーステージ
リーチザクラウン	5,540	5	20	1	ファクタークニアキ
ゴールドアリュール	5,457	4	19	4	デビルスダンサー

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利回数順)
ダンカーク	5	1	7	2	2	ハイパーステージ
リーチザクラウン	5	1	20	1	1	ファクタークニアキ
ゴールドアリュール	4	5	19	4	2	デビルスダンサー

■1900m(14レース)+2000m(11レース)+2100m(5レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
パイロ	107,741	2	10	4	ミューチャリー
シルポート	39,960	7	11	2	ハクサンアマゾネス
スウェプトオーヴァーボード	28,000	0	1	1	オメガパフューム

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利回数順)
シルポート	7	2	11	2	1	ハクサンアマゾネス
シニスターミニスター	3	3	13	5	1	ファストフラッシュ
パイロ	2	2	10	4	2	ミューチャリー

※900m、2600mは実施数が少ないため割愛した。

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

ノキリシマ賞
ショウガタツプリ

2020年3月27日生まれ 牝 鹿毛 金沢・高橋俊之厩舎
生産・斉藤政志(浦河郡浦河町)

エスポワールシチー 栗毛2005	ゴールドアリュール 栗毛1999	サンデーサイレンス(USA) ニキヤ(USA)
	エミネントシチー 鹿毛1998	プライアンスタイム(USA) ヘッパースンシチー
ハートフルビコー 鹿毛2001	ゼンノメイジン(USA) 栗毛1994	Woodman Northernette
	ラブピート(USA) 鹿毛1986	Nijinsky Belle Marie

昨年7月のデビューから、5月2日のノキリシマ賞まで重賞4勝を含む9戦無敗。金沢の現3歳牝馬の最強馬ショウガタツプリの血統を深掘りしてみよう。

父エスポワールシチーはフェブラリーS、ジャパンCダートなどGI/JpnIを9勝。マイル前後を得意とし、金沢では2013年のJBCスプリントを勝利している。

種牡馬入り後、初年度産駒がデビューした17年には地方競馬のファーストシーズンサイヤーチャンピオンのタイトルを獲得。翌年はヤマノファイトが羽田盃、コーナスフロリダが兵庫ダービー、西日本ダービーを制すなど各地の3歳主要重賞を勝利した。

その後も産駒はコンスタントに活躍。

19年にはヴァケーションが全日本2歳優駿で産駒のダートグレード競走初勝利を飾り、22年には黒船賞、かきつばた記念と2つのダートグレード競走を勝ってNARグランプリ年度代表馬に輝いたイグナイターなどの活躍で、全種牡馬最多の重賞23勝(地方)を挙げて初の地方競馬リーディングサイヤーに輝いた。JRAでもペイシャエスがユニコーンSを勝って重賞初勝利を飾っており、中央・地方合わせた総合ランキングでも前年の30位から19位に大きく順位を上げている。

全58勝(5月31日現在)の地方重賞勝利を元に産駒の傾向を見ると、19勝の1400mが最多で、以下、1600mが11勝と続く。1800mは7勝とやや少ないが、羽田盃、黒潮盃など高額賞金レース勝ちがあり、1870mの兵庫ダービーはコーナスフロリダ、パウチェイサーで2勝。ペイシャエスによる2100mの名古屋グランプリ勝利などもあるが、得意距離は1400～1800mと考えて良さそうだ。

ショウガタツプリの母系を見ていこう。母の父ゼンノメイジンはJRA4戦未勝利という競走成績ながら、父はティンバーカントリーなどの父として知られる名種牡馬ウッドマンで、叔父にストームキャットの父



写真●石川県競馬事業局

ノキリシマ賞でデビューから9連勝のショウガタツプリ

ストームバードがいるという世界的良馬ということもあり種牡馬入り。重賞活躍馬などは出せなかったが、地方では24頭が出走し20頭が勝ち上がるという高い勝ち馬率を誇った。産駒は2頭が繁殖牝馬となり、ショウガタツプリの母ハートフルビコーは14頭の産駒を送り、13頭が出走。川崎のクラウンCを勝ったスプリングマン(父ローズキングダム)、同じくホールドユアハンド(父エスポワールシチー)と計3頭の重賞勝ち馬を含む9頭が勝ち馬となった。母系を遡ると、祖母の父に大種牡馬ニジンスキーを持ち、祖母の兄にジョッキークラブゴールドCなど米GI・3勝のレムヒゴールドなどがおり、血統は筋が通っている。

ハートフルビコーは2020年に死亡し、ショウガタツプリが最後の産駒となるが、後継牝馬ハートフルモトヒメはすでに2頭の勝ち馬を送っている。ショウガタツプリも引退後繁殖牝馬となれば大きな期待を集めそうで、この牝系も広がっていくだろう。それまでどれだけ実績を積み重ねられるか注目していきたい。

DIRT GRADE DATA 作戦

データ分析 ● 小田原啓大

**第27回
スパーキング
レディーカップ
Jpn III
7月5日(水)**
3歳以上牝馬 川崎 1600m
1着賞金2500万円
フルゲート14頭

22.7.6 川崎 1600m 曇・良	8⑩ ショウナンナデシコ (JRA) 牝5 58 吉田隼人 1.41.1 1人頭 7⑥ レディバグ (JRA) 牝4 55 戸崎圭太 クビ 3 1① サルサディオオーネ (大井) 牝8 58 森 泰斗 2 1/2 2 単勝⑩ 130円 枠連複(7-8) 430円 馬連複(8-10) 470円 枠連単(8-7) 630円 馬連単(10-8) 650円 3連複(1-8-10) 400円 3連単(10-8-1) 1,460円
21.7.8 川崎 1600m 雨・重	1① サルサディオオーネ (大井) 牝7 56 矢野貴之 1.39.0 2人頭 8⑧ リネンファッション (JRA) 牝4 55 武 豊 6 3 7⑦ グランDESTROADA (大井) 牝5 55 本田正重 クビ 6 単勝① 380円 枠連複(1-8) 740円 馬連複(1-8) 780円 枠連単(1-8) 1,300円 馬連単(1-8) 1,440円 3連複(1-7-8) 3,690円 3連単(1-8-7) 15,540円
20.7.15 川崎 1600m 雨・不良	1① ファッションスタ (JRA) 牝6 56 川田将雅 1.40.9 1人頭 8⑩ メイクハッピー (JRA) 牝4 55 C.ルメール 3/4 2 7⑧ サルサディオオーネ (大井) 牝6 56 矢野貴之 クビ 3 単勝① 190円 枠連複(1-8) 390円 馬連複(1-10) 480円 枠連単(1-8) 640円 馬連単(1-10) 870円 3連複(1-8-10) 610円 3連単(1-10-8) 2,500円

●まずマイル実績が問われる
真っ先に問われるのがマイルの実績。2018年リエノテソーロは16年全日本2歳優駿1着、17年NHKマイルカップ2着と芝・ダート両方で活躍。21年サルサディオオーネは左回りがベストで、20年マリーンカップ1着。22年ショウナンナデシコはマリーンカップやかしわ記念を含めて3連勝中。19年ファッションスタは当時マイル未経験も20年と連覇しており、勝ち馬には1600mの重賞で実績が求められる。2着は前走JRAのダートで1着の馬が多数。20年メイクハッピーや21年リネンファッションはJRA3勝クラスのダート1800mを勝っていた。22年2着レディバグは前走栗東ステークス1着。勝つていれば距離はマイルでなくても構わない。

**第25回
ジャパントート
ダービー
Jpn I
7月12日(水)**
3歳 大井 2000m
1着賞金6000万円
フルゲート16頭

22.7.13 大井 2000m 曇・不良	8⑭ ノットワルノ (JRA) 牡3 56 武 豊 2.04.6 4人頭 5⑦ ベイシャエス (JRA) 牡3 56 菅原明良 3/4 3 4⑥ プリッツファング (JRA) 牡3 56 池添謙一 1/2 1 単勝⑭ 560円 枠連複(5-8) 1,070円 馬連複(7-14) 1,030円 枠連単(8-5) 2,050円 馬連単(14-7) 2,310円 3連複(6-7-14) 1,170円 3連単(14-7-6) 8,090円
21.7.14 大井 2000m 曇・稍重	8⑫ キャッスルトップ (船橋) 牡3 56 仲野光馬 2.05.9 12人頭 8⑩ ゴッドセレクション (JRA) 牡3 56 中井裕二 アタマ 2 5⑦ ウェルドーン (JRA) 牡3 54 武 豊 アタマ 3 単勝⑫ 12,950円 枠連複(8-8) 19,370円 馬連複(12-13) 38,200円 枠連単(8-8) 14,980円 馬連単(12-13) 115,710円 3連複(7-12-13) 37,130円 3連単(12-13-7) 554,300円
20.7.8 大井 2000m 曇・重	6⑨ ダノンアラオ (JRA) 牡3 56 坂井瑠星 2.05.9 6人頭 8⑫ ダイメイコリダ (JRA) 牡3 56 池添謙一 1 3/4 4 7⑩ キタノオクトパス (JRA) 牡3 56 田邊裕信 5 8 単勝⑨ 4,060円 枠連複(6-8) 15,160円 馬連複(9-12) 17,820円 枠連単(6-8) 39,330円 馬連単(9-12) 57,600円 3連複(9-10-12) 52,670円 3連単(9-12-10) 770,730円

●JRA馬が優勢もコース替わりが鍵
基本的にJRA馬が優勢だが、過去5年では2019年3着ミューチャラー、21年1着キャッスルトップ(ともに船橋)と2頭の地方馬が馬券絡み。21年は波乱になったが、JRA勢のレベルが全体的に高くなかったことが大きな要因だろう。主要なステップレースは2つだが注意点がある。ユニコーンステークス(東京1600m)は大井2000mとのコース適性のギャップが激しい。また、レース間隔がタイトなので余力があるかという点も鍵になる。兵庫チャンピオンシップ(園田1870m)もコース替わりがポイント。22年はプリッツファングの8馬身差2着に敗れていたノットワルノが逆転して勝利。大井の長い直線で末脚が生きそうな馬は評価を上げたい。

**第27回
マーキュリーカップ
Jpn III
7月17日(祝・月)**
3歳以上 盛岡 2000m
1着賞金3000万円
フルゲート14頭

22.7.18 盛岡 2000m 曇・稍重	5⑧ パーデンヴァイラー (JRA) 牡4 54 福永祐一 2.02.5 2人頭 2② テリオスベル (JRA) 牝5 52 江田照男 クビ 7 1① ヴァケーション (岩手) 牡5 54 村上 忍 6 10 単勝⑤ 500円 枠連複(2-5) 2,770円 馬連複(2-8) 2,930円 馬連単(8-2) 5,350円 3連複(1-2-8) 145,300円 3連単(8-2-1) 635,880円
21.7.20 盛岡 2000m 晴・良	2② マスターフェンサー (JRA) 牡5 58 松山弘平 2.05.7 4人頭 3③ パンクオブクラウド (JRA) 牡4 54 大野拓弥 2 1 6⑨ ヒストリーメイカー (JRA) 牡7 54 藤岡佑介 10 2 単勝② 580円 枠連複(2-3) 550円 馬連複(2-3) 620円 馬連単(2-3) 1,460円 3連複(2-3-9) 400円 3連単(2-3-9) 3,310円
20.7.21 盛岡 2000m 晴・良	3③ マスターフェンサー (JRA) 牡4 54 川田将雅 2.03.0 1人頭 6⑨ デルマルヴェル (JRA) 牡4 57 岡部 誠 1 1/2 3 1① ランガディア (岩手) 牡6 54 鈴木 祐 5 6 単勝③ 190円 枠連複(3-6) 330円 馬連複(3-9) 350円 馬連単(3-9) 550円 3連複(1-3-9) 2,120円 3連単(3-9-1) 5,860円

●東京ダート2100mのOP特別組に注目
過去5年では、前走東京ダート2100mのスレイニルステークスがプリリアントステークスで連対していた馬が毎年1頭馬券絡み。基本的には上位人気に支持されるタイプだが、2022年2着テリオスベルは前走スレイニルステークス1着ながら7番人気と低評価だった。ダート中距離の重賞で好走・善戦経験がある馬はもちろんここで有力。JRAのレースでは前走平安ステークスやアンタレスステークス組が有力。仮に惨敗に終わっても巻き返しを警戒したい。地方馬は20年にランガディアが6番人気で3着、22年はヴァケーションが10番人気で3着と激走している。ともに地元岩手の所属で前走は一條記念みちのく大賞典で3着以内だった。

**第28回
クラスターカップ
Jpn III
8月15日(火)**
3歳以上 盛岡 1200m
1着賞金3000万円
フルゲート14頭

22.8.16 盛岡 1200m 雨・不良	8⑬ オーロラテソーロ (JRA) 牡5 54 鮫島克駿 1.09.4 3人頭 8⑭ リュウノユキナ (JRA) 牡7 55 村上 忍 1 2 7⑪ ジャスティン (JRA) 牡6 58 横山武史 1 4 単勝⑬ 640円 枠連複(8-8) 930円 馬連複(13-14) 1,000円 馬連単(13-14) 2,160円 3連複(11-13-14) 1,410円 3連単(13-14-11) 7,120円
21.8.9 盛岡 1200m 曇・良	5⑥ リュウノユキナ (JRA) 牡6 55 柴田善臣 1.11.1 1人頭 3③ サイクロトロン (JRA) 牡4 54 松山弘平 3 5 6⑩ ヒロシゲゴールド (JRA) 牡6 55 幸 英明 2 2 単勝⑥ 210円 枠連複(3-5) 520円 馬連複(3-8) 1,540円 馬連単(8-3) 2,570円 3連複(3-8-10) 1,000円 3連単(8-3-10) 6,180円
20.8.10 盛岡 1200m 曇・良	6⑨ マテラスカイ (JRA) 牡6 55 武 豊 R 1.08.5 1人頭 1① ヒロシゲゴールド (JRA) 牡5 54 藤岡康太 1/2 3 3③ ブルドッグボス (浦和) 牡8 59 御神本訓史 2 1/2 4 単勝⑨ 210円 枠連複(1-6) 590円 馬連複(1-9) 600円 馬連単(9-1) 1,010円 3連複(1-3-9) 1,180円 3連単(9-1-3) 3,460円

●リピーターと北海道SC組に注目
以前からリピーターの活躍が目立っており、過去5年ではヒロシゲゴールドが3年連続(2019、20、21年)、リュウノユキナが2年連続(21、22年)で3着以内に入っている。脚質を問わず、盛岡コースを得意にしている馬には注目したい。ステップレースとしては北海道スプリントカップが最有力で、19～21年の勝ち馬は同レースで連対していた。22年は1番人気ダグシングプリンスが4着と敗れたが、スタートで大きく躓いてしまったのが敗因。ちなみに同馬は次走JBCスプリント(盛岡)を勝利。その他では前走JRAのオープン特別を勝っている好調馬が有力。ただ、レース間隔はなるべく詰まっている方がいい。休み明けの場合は取捨を慎重に行いたい。

**第35回
ブリーダーズ
ゴールドカップ
Jpn III
8月17日(木)**
3歳以上牝馬 門別 2000m
1着賞金3100万円
フルゲート16頭

22.8.11 門別 2000m 雨・不良	7⑩ グランブリッジ (JRA) 牝3 55 福永祐一 2.05.3 3人頭 5⑥ プリティーチャンス (JRA) 牝5 55 吉田隼人 クビ 2 2② テリオスベル (JRA) 牝5 55 江田照男 3 1 単勝⑩ 380円 枠連複(5-7) 510円 馬連複(6-10) 560円 馬連単(10-6) 1,110円 3連複(2-6-10) 270円 3連単(10-6-2) 2,140円
21.8.12 門別 2000m 晴・稍重	5⑤ マルシュロレーヌ (JRA) 牝5 57 川田将雅 2.06.6 1人頭 1① リネンファッション (JRA) 牝4 55 武 豊 1/2 4 4④ アッセンブッテル (JRA) 牝5 55 藤岡佑介 3 3 単勝⑤ 150円 枠連複(1-5) 370円 馬連複(1-5) 440円 馬連単(5-1) 560円 3連複(1-4-5) 420円 3連単(5-1-4) 1,590円
20.8.13 門別 2000m 晴・良	1① プリンシアコメータ (JRA) 牝7 57 岩田康誠 2.07.7 2人頭 5⑨ メモリーコウ (JRA) 牝5 55 古川吉洋 1 1/2 4 8⑭ レーヌブランシュ (JRA) 牝3 55 松山弘平 アタマ 1 単勝① 360円 枠連複(1-5) 900円 馬連複(1-9) 820円 馬連単(1-9) 1,730円 3連複(1-9-14) 670円 3連単(1-9-14) 4,660円

●JRAの上位人気馬で決まる
過去5年の3着以内馬15頭はすべてJRA馬で、4番人気以内に支持されていた。地方馬の食い込みは厳しく、ほぼ人気サイドで決まる。馬券的には1着、2着、3着をしっかりと順番通りに当てたいところ。その際ポイントとなる考え方はいくつかある。まずは、距離2000m以上のレースで連対実績がある馬の方が勝ちやすいこと。マイルの間に適性がある馬は2、3着を想定したい。また、前走が牡馬相手の中距離であれば、5着以下に敗れていても巻き返しはありうる。そして、3歳馬は関東オークスの勝ち馬が有力だが、古馬の壁に阻まれるケースが多く、相当な力がないと勝ち切るのは大変。その意味では2022年1着グランブリッジは相当優秀だ。

第23回 サマーチャンピオン JpnⅢ
8月31日(木)
3歳以上 佐賀 1400m
1着賞金 3000万円
フルゲート12頭

22.8.25 佐賀 1400m 晴・不良	8 ⑫ シャマル(JRA) 牡4 57 川須栄彦 1.25.5 1人	1人
	8 ⑪ コウエイアンカ(兵庫) セ7 52 大山真吾 2 6	6
	2 ② サクセスエナジー(JRA) 牡8 59 松山弘平 クビ 5	5
	単勝②210円 枠連複(8-8)2,940円 馬連複(11-12)2,950円	
	馬連単(12-11)4,510円 3連複(2-11-12)8,950円 3連単(12-11-2)36,930円	
21.9.1 佐賀 1400m 晴・良	2 ② ラプタス(JRA) セ7 58.5 鮫島亮也 1.25.9 1人	1人
	1 ① サクセスエナジー(JRA) 牡7 59 倉富隆一郎 7 4	4
	8 ⑩ コパノキッキング(JRA) セ6 59 武 豊 クビ 2	2
	単勝②170円 枠連複(1-2)1,100円 馬連複(1-2)1,140円	
	馬連単(2-1)1,570円 3連複(1-2-10)600円 3連単(2-1-10)3,030円	
20.8.12 佐賀 1400m 曇・重	5 ⑤ サヴィ(JRA) 牡6 56 和田竜二 1.26.3 4人	4人
	8 ⑫ メイショウテンスイ(JRA) 牡3 53 酒井 学 1/2 3	3
	6 ⑦ コパノキッキング(JRA) セ7 58.5 武 豊 1 1	1
	単勝⑤650円 枠連複(5-8)1,540円 馬連複(5-12)1,270円	
	馬連単(5-12)3,160円 3連複(5-7-12)710円 3連単(5-12-7)6,730円	

●前走1着馬が狙い目
過去5年は前走1着の馬が6頭連対している。JRA馬は19年2着ヒザクリゲ(やまびこステークス)、20年1着サヴィ(天保山ステークス)と2着メイショウテンスイ(大阪スポーツ杯)、21年1着ラプタス(かきつばた記念JpnⅢ)、地方馬はともに兵庫勢で18年1着エイシンバランサー(笠松・サマーカップ)、22年2着コウエイアンカ(園田A1)が該当。前走レースはダートグレード、JRAのオープン特別・3勝クラス、地方と条件を問わず、1着の好調馬が狙い目。前走ダートグレード組も有力。高確率で上位人気に支持されるが、距離を問わず5着以内に入っていればいい。前走オープン特別組は東京ダートで大敗していた馬の巻き返しにも注意。

第34回 テレ玉杯 オーバルスプリント JpnⅢ
9月20日(水)
3歳以上 浦和 1400m
1着賞金 3000万円
フルゲート12頭

22.9.21 浦和 1400m 晴・重	8 ⑪ シャマル(JRA) 牡4 55 川須栄彦 1.25.8 1人	1人
	7 ⑨ リメイク(JRA) 牡3 52 福永祐一 1 1/2 3	3
	5 ⑤ ティーズダング(浦和) 牡5 54 和田譲治 3 2	2
	単勝⑪190円 枠連複(7-8)250円 馬連複(9-11)290円 枠連単(8-7)390円	
	馬連単(11-9)490円 3連複(5-9-11)200円 3連単(11-9-5)830円	
21.9.23 浦和 1400m 晴・良	8 ⑫ テイエムサウスダン(JRA) 牡4 55 岩田康誠 1.24.6 2人	2人
	5 ⑥ ティーズダング(浦和) 牡4 54 和田譲治 2 5	5
	7 ⑩ アランパローズ(船橋) 牡3 52 左海誠二 5 3	3
	単勝⑫420円 枠連複(5-8)2,010円 馬連複(6-12)2,220円 枠連単(8-5)3,140円	
	馬連単(12-6)4,000円 3連複(6-10-12)4,540円 3連単(12-6-10)27,620円	
20.9.22 浦和 1400m 曇・良	8 ⑩ サクセスエナジー(JRA) 牡6 58 松山弘平 1.26.7 3人	3人
	6 ⑥ ベストマッチョ(川崎) セ7 54 森 泰斗 2 4	4
	8 ③ ノブワイルド(浦和) 牡8 55 左海誠二 ハナ 1	1
	単勝⑩440円 枠連複(6-8)1,410円 馬連複(6-10)1,360円 枠連単(8-6)2,610円	
	馬連単(10-6)2,440円 3連複(3-6-10)1,230円 3連単(10-6-3)8,740円	

●浦和で実績ある馬に注目
過去5年の3着以内馬15頭のうちJRAは7頭、地方は8頭と地方勢がわずかにリード。特に地元の浦和所属馬が好調で、ノブワイルドは2018、19年と連覇し20年は3着。そしてティーズダングは21年2着、22年3着と善戦しており、リピーターの活躍がみられる。浦和・プラチナカップやさきたま杯で好走歴があると相当期待できる。JRA馬は前走ダートグレード好走馬が一応有力。3着以内にいった7頭はすべて3番人気以内だったが、好調な馬をマークしたい。18年2着オウケンビリーヴや19年3着ヤマニンアンプリメは前走クラスターカップ1着、22年1着シャマルは前走サマーチャンピオンを勝っていた。

第43回 白山大賞典 JpnⅢ
9月26日(火)
3歳以上 金沢 2100m
1着賞金 2500万円
フルゲート12頭

22.10.4 金沢 2100m 曇・良	4 ④ ケイアイパール(JRA) 牡6 55 藤岡康太 2.13.1 2人	2人
	7 ⑨ ラーゴム(JRA) 牡4 55 鮫島亮也 2 1/2 4	4
	1 ① カブジオクタゴン(JRA) 牡3 53 岩田望来 アタマ 3	3
	単勝④280円 枠連複(4-7)1,340円 馬連複(4-9)1,130円 枠連単(4-7)2,380円	
	馬連単(4-9)2,100円 3連複(1-4-9)2,250円 3連単(4-9-1)10,370円	
21.9.22 金沢 2100m 雨・不良	6 ⑦ メイショウカズサ(JRA) 牡4 55 川田将雅 R 2.10.3 5人	5人
	6 ⑧ ミューチャリー(船橋) 牡5 54 吉原寛人 3 2	2
	4 ④ スワフヴァラミス(JRA) 牡6 55 松田大作 クビ 3	3
	単勝⑦860円 枠連複(6-6)2,070円 馬連複(7-8)1,490円 枠連単(6-6)1,720円	
	馬連単(7-8)3,240円 3連複(4-7-8)2,400円 3連単(7-8-4)14,150円	
20.9.29 金沢 2100m 晴・稍重	8 ⑪ マスターフェンサー(JRA) 牡4 55 川田将雅 2.13.6 1人	1人
	5 ⑤ ロードレガリス(JRA) 牡5 54 武 豊 クビ 2	2
	8 ③ ロードゴラン(JRA) 牡5 55 藤岡佑介 2 4	4
	単勝⑪250円 枠連複(5-8)340円 馬連複(5-11)420円 枠連単(8-5)760円	
	馬連単(11-5)840円 3連複(3-5-11)790円 3連単(11-5-3)2,900円	
19.10.1 金沢 2100m 晴・良	8 ⑩ グリム(JRA) 牡4 56 濱中 俊 2.15.9 1人	1人
	4 ④ デルマルーヴル(JRA) 牡3 52 吉原寛人 クビ 2	2
	6 ⑥ ノーヴァレンダ(JRA) 牡3 52 和田竜二 3/4 5	5
	単勝⑩210円 枠連複(4-8)250円 馬連複(4-10)260円 枠連単(8-4)460円	
	馬連単(10-4)510円 3連複(4-6-10)900円 3連単(10-4-6)3,190円	
18.10.2 金沢 2100m 晴・稍重	8 ⑪ グリム(JRA) 牡3 53 内田博幸 R2.11.4 2人	2人
	7 ⑧ センチュリオン(JRA) 牡6 55 大野拓弥 5 4	4
	5 ⑤ カツゲキキト(名古屋) 牡5 54 大畑雅章 1 1/2 5	5
	単勝⑪350円 枠連複(7-8)450円 馬連複(8-11)1,090円 枠連単(8-7)610円	
	馬連単(11-8)1,630円 3連複(5-8-11)3,700円 3連単(11-8-5)10,960円	

●レパードS好走の3歳馬に注目
過去5年で3歳馬は4頭(いずれも当時JRA所属)が3着以内に入っている。そのうち、2018年1着グリム、19年2着デルマルーヴル、22年3着カブジオクタゴンは前走レパードステークス1~2着、19年3着ノーヴァレンダはユニコーンステークス9着からの参戦。ちなみに20年と21年は3歳馬の出走がなかった。できれば前走はレパードステークスで好走していることが望ましい。22年は前走ジャパンダートダービー3着で1番人気のブリッツファンが5着と敗れている。
4歳以上の3着以内馬は11頭(JRA馬9頭、地方馬2頭)で、そのうち6頭は前走1700m以上のダートグレードもしくは南関東重賞で4着以内に入っていた。21年2着ミューチャリー(船橋)は前走帝王賞4着と、JRA馬と遜色のないハイレベルな走りを見せていた。残る5頭のうちの4頭は2走前に勝利。19年1着グリムはマーキュリーカップ、20年2着ロードレガリスはアルデバランステークス、21年1着メイショウカズサはプロキオンステークス、22年2着ラーゴムは吾妻小富士ステークスと、ダートグレードやJRAのオープン特別を勝っており、近走で勝利を挙げている馬は押さえておきたい。

第70回 日本テレビ盃 JpnⅡ
9月27日(水)
3歳以上 船橋 1800m
1着賞金 4000万円
フルゲート14頭

22.9.28 船橋 1800m 晴・良	6 ⑨ フィールドセンス(船橋) 牡8 56 本橋孝太 1.53.0 7人	7人
	4 ⑥ クラウンプライド(JRA) 牡3 54 福永祐一 1/2 3	3
	5 ⑦ サルサディオネ(大井) 牝8 55 矢野貴之 3 2	2
	単勝⑨2,870円 枠連複(4-6)1,880円 馬連複(6-9)9,790円 枠連単(6-4)4,220円	
	馬連単(9-6)28,290円 3連複(6-7-9)8,040円 3連単(9-6-7)128,040円	
21.9.29 船橋 1800m 曇・良	8 ⑩ サルサディオネ(大井) 牝7 54 矢野貴之 1.53.5 2人	2人
	1 ① ダノンファラオ(JRA) 牡4 57 横山武史 1/2 3	3
	7 ⑨ メイショウダジン(JRA) 牡4 56 幸 英明 1 5	5
	単勝⑩540円 枠連複(1-8)1,100円 馬連複(1-10)1,530円 枠連単(8-1)3,060円	
	馬連単(10-1)3,150円 3連複(1-9-10)2,910円 3連単(10-1-9)12,580円	
20.9.30 船橋 1800m 曇・稍重	4 ⑤ ロードプレス(JRA) 牡4 56 三浦皇成 1.50.5 5人	5人
	7 ⑫ デルマルーヴル(JRA) 牡4 57 戸崎圭太 2 3	3
	2 ② ストライクイーグル(大井) 牡7 56 森 泰斗 2 1/2 7	7
	単勝⑤930円 枠連複(4-7)690円 馬連複(5-12)1,640円 枠連単(4-7)1,680円	
	馬連単(5-12)4,100円 3連複(2-5-12)18,770円 3連単(5-12-2)108,720円	

●近3年は波乱決着
"Road to JBC"に指定されている注目レースだが、近3年は混戦模様メンバーのせい波乱の傾向となっている。2018年は1着ケイティブレブを筆頭に前走帝王賞組が上位を独占。また19年は、前走ジャパンダートダービーを制した3歳王者クリンベリルが断然人気に応えたが、このように実力馬が出走してくれば堅く収まる可能性が高い。一方、近3年は1番人気がすべて4着以下に敗れている。勝ったのは20年が前走BSN賞1着のロードプレス、21年サルサディオネ(大井)、22年フィールドセンス(船橋)とともに川崎・スパーキングサマーカップ1着からの参戦だった。前走GI/JpnI以外の馬は、レースは問わず勝っていることが望ましい。

LOTO 高額配当ランキング
Odds Park 2023年3月1日 ~ 2023年5月31日

[五重勝単勝式]

第1位	22,013,110円(1口)	3/10 佐賀
第2位	4,993,520円(1口)	5/21 佐賀
第3位	4,914,280円(1口)	3/18 帯広

[七重勝単勝式]

第1位	54,345,830円(1口)	4/30 佐賀
-----	-----------------	---------

読者プレゼント

①青柳正義騎手 直筆サイン色紙...2名様 提供:青柳正義騎手

②オッズパーク 特製ボールペン...10名様 提供:オッズ・パーク株式会社

ご希望の方はお製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkを利用のご感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望、⑦電話番号を明記の上、下記まで、締切は7月18日(火)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。〒901-0298 沖縄県豊城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 名古屋、兵庫(園田)、高知…………… ナイター開催当日 10:00 ~
 ばんえい帯広、佐賀、ホッカイドウ、南関東…………… ナイター開催当日 12:00 ~

DG ダートグレード開催日 重賞 重賞開催日
 ●: デイ開催 ●: 薄暮取扱 ●: ナイター取扱

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
ばんえい帯広	●	重賞	●					●	●	●					●	重賞	●					●	●	●					●	重賞	●
岩手盛岡/水沢		盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡
金沢			●	●					重賞		●					●		●							●	●					●
笠松				●	●	重賞	●												●	●	●										
名古屋											●	●	●			重賞										●	●	●		●	
兵庫園田/姫路					園田	園田	園田				園田	園田	園田						園田	園田	園田				園田	園田	園田				
高知	●	●						●	●							重賞	●						●	●					●	●	
佐賀	●	●		●				●	重賞						●	●		●					●	重賞							
北海道・南関DG					川崎 DG							大井 DG																			

8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
ばんえい帯広					●	●	●					●	重賞	●					●	●	●					●	重賞	●			
岩手盛岡/水沢		盛岡				盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					水沢	水沢	水沢				水沢	水沢	水沢			
金沢	●					●		重賞						●	●							●	●			●	重賞	●			
笠松		●	重賞	●											●	重賞	●	●											●	重賞	
名古屋							●	●	●	●												重賞	●	●	●						
兵庫園田/姫路		園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田						園田	園田	園田				園田	園田
高知												●	●						●	重賞						●	重賞				
佐賀												●	重賞			重賞				●	重賞						●			●	
北海道・南関DG																門別 DG															

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
ばんえい帯広		●	●	●					●	●	●					●	重賞	●					●	重賞	●					●
岩手盛岡/水沢			水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡				
金沢			重賞		●					●	●					●								●	重賞	●	DG			
笠松	●											●	●	●												●	●	重賞	●	
名古屋					重賞	●	●	●												●	●	重賞				●				
兵庫園田/姫路	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田				園田	園田	園田		
高知		●	●						●	●							●	重賞											●	
佐賀		●	重賞							重賞						●	●	●						●	重賞					
北海道・南関DG																				浦和 DG						船橋 DG				

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
 ※ホッカイドウ競馬、南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみ投票できます。

重賞&ダートグレード日程(2023年7月~9月)

7月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
	帯広	2(日)	第17回 柏林賞	重賞 4歳	200	
	盛岡	2(日)	第55回 岩鷲賞	重賞 3歳以上	1,200	
	川崎	5(水)	第27回 スパークングレディーカップJpnⅢ	DG 3歳以上牝馬	1,600	中央・地方全国交流
	笠松	6(木)	第45回 サマーカップ	重賞 3歳以上	1,400	北陸・東海・近畿地区交流
	盛岡	9(日)	第24回 オパールカップ	重賞 3歳	芝1,700	地方全国交流
	金沢	9(日)	第10回 加賀友禅賞	重賞 3歳牝馬	1,400	
	佐賀	9(日)	第6回 佐賀王冠賞	重賞 3歳以上	2,000	
	盛岡	11(火)	第37回 ひまわり賞(オークス)	重賞 3歳牝馬	1,800	
	大井	12(水)	第25回 ジャパンダートダービーJpnI	DG 3歳	2,000	中央・地方全国交流
	園田	14(金)	第16回 兵庫サマークイーン賞	重賞 3歳以上牝馬	1,700	地方全国交流
	帯広	16(日)	第54回 旭川記念	重賞 3歳以上	200	
	高知	16(日)	第20回 トレノ賞	重賞 3歳以上	1,300	
	盛岡	17(祝・月)	第27回 マーキュリーカップJpnⅢ	DG 3歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	名古屋	17(祝・月)	第27回 名港盃	重賞 3歳以上	2,000	
	盛岡	23(日)	第11回 ハヤテスプリント	重賞 3歳	1,200	地方全国交流
	佐賀	23(日)	第25回 吉野ヶ里記念	重賞 3歳以上	1,400	
	帯広	30(日)	第48回 ばんえい大賞典	重賞 3歳	200	
	盛岡	30(日)	第45回 せきれい賞	重賞 3歳以上	芝2,400	地方全国交流
8月	盛岡	1(火)	第24回 若鮎賞	重賞 2歳	芝1,600	
	笠松	3(木)	第1回 撫子争覇	重賞 3歳以上牝馬	1,400	
	盛岡	6(日)	第36回 やまびこ賞	重賞 3歳	1,800	
	金沢	8(火)	第41回 読売レディス杯	重賞 3歳以上牝馬	1,500	地方全国交流
	園田	10(木)	第1回 兵庫ジュベナイルカップ	重賞 2歳	1,400	
	園田	11(祝・金)	第55回 摂津盃	重賞 3歳以上	1,700	
	帯広	13(日)	第35回 ばんえいグランプリ	重賞 3歳以上	200	ファン投票
	盛岡	13(日)	第3回 いしがきマイラーズ	重賞 3歳以上	芝1,600	
	佐賀	13(日)	第20回 ロータスクラウン賞	重賞 3歳	2,000	四国・九州地区交流
	盛岡	15(火)	第28回 クラスタースターカップJpnⅢ	DG 3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	笠松	16(水)	第52回 くらゆり賞	重賞 3歳以上	1,600	地方全国交流
	佐賀	16(水)	第27回 霧島賞	重賞 3歳以上九州産馬	1,400	中央2勝クラス以下・地方全国交流
	門別	17(木)	第35回 ブリーダーズゴールドカップJpnⅢ	DG 3歳以上牝馬	2,000	中央・地方全国交流
	水沢	20(日)	第41回 ビギナーズカップ	重賞 2歳	1,400	
	高知	20(日)	第46回 建依別賞	重賞 3歳以上	1,400	
	佐賀	20(日)	第3回 九州チャンピオンシップ	重賞 3歳以上	1,750	
	名古屋	22(火)	第4回 ベイスプリント	重賞 3歳以上	920	
	帯広	27(日)	第35回 はまなす賞	重賞 3歳・4歳	200	
	水沢	27(日)	第49回 ビューチフルドリーマーカップ	重賞 3歳以上牝馬	2,000	地方全国交流
	金沢	27(日)	第19回 イヌワシ賞	重賞 3歳以上	2,000	地方全国交流
	高知	27(日)	第27回 黒潮菊花賞	重賞 3歳	1,900	
	金沢	29(火)	第18回 石川テレビ杯	重賞 2歳	1,400	
	笠松	30(水)	第47回 岐阜金賞	重賞 3歳	1,900	
	園田	31(木)	第16回 兵庫若駒賞	重賞 2歳	1,400	
	佐賀	31(木)	第23回 サマーチャンピオンJpnⅢ	DG 3歳以上	1,400	中央・地方全国交流
9月	水沢	3(日)	第55回 不來方賞	重賞 3歳	2,000	
	金沢	3(日)	第58回 サラブレッド大賞典	重賞 3歳	2,000	
	佐賀	3(日)	第34回 九州ジュニアチャンピオン	重賞 2歳	1,400	
	名古屋	5(火)	第17回 秋桜賞	重賞 3歳以上牝馬	1,700	地方全国交流
	園田	7(木)	第6回 園田オータムトロフィー	重賞 3歳	1,700	
	水沢	10(日)	第31回 青藍賞	重賞 3歳以上	1,600	
	佐賀	10(日)	第8回 西日本ダービー	重賞 3歳	2,000	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	園田	15(金)	第20回 園田チャレンジカップ	重賞 3歳以上	1,400	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	帯広	17(日)	第59回 岩見沢記念	重賞 3歳以上	200	
	盛岡	17(日)	第25回 ジュニアグランプリ	重賞 2歳	芝1,600	地方全国交流
	盛岡	18(祝・月)	第4回 OROオータムティアラ	重賞 3歳牝馬	2,000	
	高知	18(祝・月)	第35回 珊瑚冠賞	重賞 3歳以上	1,900	
	浦和	20(水)	第34回 テレ玉杯オーバルスプリントJpnⅢ	DG 3歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	園田	21(木)	第25回 園田プリンセスカップ	重賞 2歳牝馬	1,400	地方全国交流
	名古屋	22(金)	第34回 秋の鞍	重賞 3歳	1,500	地方全国交流
	帯広	24(日)	第31回 銀河賞	重賞 4歳	200	
	盛岡	24(日)	第10回 ヴィーナススプリント	重賞 3歳以上牝馬	1,200	
	金沢	24(日)	第1回 ネクストスター金沢	重賞 2歳	1,400	
	佐賀	24(日)	第2回 鳥栖大賞	重賞 3歳以上	2,000	地方全国交流
	盛岡	26(火)	第25回 岩手県知事杯OROカップ	重賞 3歳以上	芝1,700	地方全国交流
	金沢	26(火)	第43回 白山大賞典JpnⅢ	DG 3歳以上	2,100	中央・地方全国交流
	船橋	27(水)	第70回 日本テレビ盃JpnII	DG 3歳以上	1,800	中央・地方全国交流
	笠松	28(木)	第50回 オータムカップ	重賞 3歳以上	1,900	北陸・東海・近畿地区交流
	園田	28(木)	第63回 姫山菊花賞	重賞 3歳以上	1,700	南関東・北陸・東海・近畿地区交流

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。



● オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式		三連勝		重勝式			投票方式					
					枠番 枠複	馬番		枠番 枠単	馬番 馬単	三連 複	三連 単	セレクト 5	セレクト 7	ランダム 7	電話投票 ARS	インターネット投票			携 帯 投 票
						普通 (馬複)	拡大 (ワイド)									オッズ パーク 投票	クラ シック 投票	マ ー ケ ッ ト 投 票	
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
盛岡	11	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水沢	12	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
笠松	42	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
名古屋	43	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
園田	51	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
姫路	52	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
佐賀	61	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※販売枠式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

ホッカイドウ門別	場番号	最大出走頭数	単勝	複勝	連勝複式	連勝単式	三連勝	重勝式	インターネット投票	クラシック投票	携帯投票
浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988
受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<https://www.oddspark.com/>
携帯
<http://m.oddspark.com/>
スマートフォン
<https://sp.oddspark.com/>

電話投票

0570-011100 (ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555 (ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認のうえ、お間違のないようお願いいたします。

※[0180][0570]で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからのご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけない場合がございます。

※[0180]で始まる電話番号は(固定電話)音源所在地までの一般ダイヤル通話料(携帯電話)全国一律14秒10円(3分130円)がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル([0570]で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。